

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成22年7月29日 (2010.7.29)

【公表番号】特表2010-510596(P2010-510596A)
 【公表日】平成22年4月2日 (2010.4.2)
 【年通号数】公開・登録公報2010-013
 【出願番号】特願2009-537512(P2009-537512)
 【国際特許分類】

G 0 6 K 19/06 (2006.01)

H 0 4 N 1/387 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

G 0 3 H 1/26 (2006.01)

【F I】

G 0 6 K 19/00 E

H 0 4 N 1/387

G 0 6 T 1/00 5 0 0 B

G 0 6 K 19/00 D

G 0 3 H 1/26

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月10日 (2010.6.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

暗号化されるべき少なくとも 1 つの情報の項目 (I ; I₁ , I₂) を提供するステップと、

上記情報を少なくとも 1 つのグラフィックデータイメージ (D₁ , D₂) に変換するステップと、

上記グラフィックデータイメージ (D₁ , D₂) を少なくとも 1 つのホログラム (H₁ , H₂) に変換するステップと、

上記ホログラムで上記ホログラフィックデータ記憶媒体 (4) を書き込むステップとを備えたホログラフィックデータ記憶媒体 (4) 上で保護する価値のある情報を暗号化する符号化方法において、

上記ホログラフィックデータ記憶媒体 (4) がホログラム (H'₁ , H'₂) で書き込まれる前に、上記ホログラム (H₁ , H₂) がグラフィックで変更されることを特徴とする符号化方法。

【請求項 2】

少なくとも 1 つのホログラム (H'₁ , H'₂ ; H_{g e s}) を有するホログラフィックデータ記憶媒体 (4) を提供するステップと、

レーザビームであるエネルギービームを用いて上記ホログラフィックデータ記憶媒体 (4) を照射して、上記ホログラム (H'₁ , H'₂ ; H_{g e s}) を読み出すステップと、

上記ホログラフィックデータ記憶媒体 (4) で反射された上記エネルギービームを受信機 (5) で受信して、上記ホログラム (H'₁ , H'₂ ; H_{g e s}) をグラフィックデータイメージ (D₁ , D₂) に変換するステップとを備えた請求項 1 記載の符号化方法にしたがって暗号化された情報の項目を復号する復号方法において、

上記エネルギービームはフィルタ(2)に入射され、上記フィルタ(2)は、上記エネルギービームが2次元パターンで上記受信機(5)に入射されるという方法で上記エネルギービームを部分的にのみ通過させ、上記2次元パターンは、イメージ鍵(S_2)によって一意に定義されることを特徴とする復号方法。

【請求項3】

レーザビームであるエネルギービームを生成する放射源(1)と、
上記エネルギービームを用いてホログラフィックデータ記憶媒体(4)を照射するレンズ配置(3)と、

上記ホログラフィックデータ記憶媒体(4)を保持する保持デバイスと、

上記ホログラフィックデータ記憶媒体(4)から反射された上記エネルギービームを検出する受信機(5)とを備え、

上記保持デバイス及び上記レンズ配置(3)は、上記ホログラフィックデータ記憶媒体(4)が複数の点で照射されうるような方法でお互いに相対的に移動されることが可能な、ホログラフィック形式で存在する情報の項目を符号化する及び/又は復号するコーデックにおいて、

上記エネルギービームのビーム経路上にフィルタ(2)は配置され、上記フィルタは、上記エネルギービームが2次元パターンで上記受信機(5)を照射するという方法で上記エネルギービームを変更し、上記2次元パターンは、イメージ鍵(S_2)によって一意に定義されることを特徴とするコーデック。

【請求項4】

ホログラムを記憶するデータ記憶素子を有する暗号化されたデータのホログラフィック記憶に対するデータ記憶媒体において、

上記データ記憶素子は、イメージ鍵(S_2)によって一意に定義される2次元パターンの形式を有する複数のホログラム(H'_1 , H'_2)を有することを特徴とするデータ記憶媒体。